

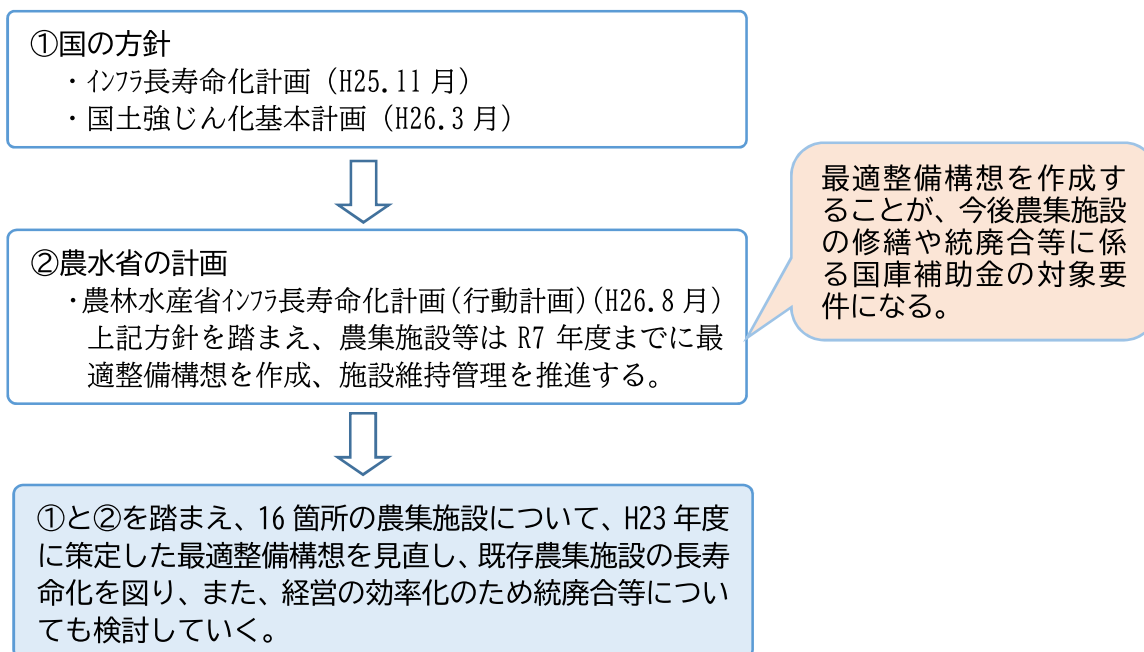
農業集落排水処理施設の最適整備構想の見直し（策定）について

1 最適整備構想とは

市町村が管理する供用開始後おおむね20年を経過した農業集落排水施設について、計画的に機能診断を実施し、施設機能を保全するために必要な対策方法や対策時期をまとめたもの。

本構想は、施設の補強・補修を計画的に実施し、更新により既存の施設を健全に長く利用するため長寿命化を進めていくため、また、農業集落排水処理施設をより効率的に運営していくために、処理区の統合や公共下水道への接続等について検討し、今後の処理区の在り方を示した構想。

2 実施理由



3 実施内容

- ① 機能診断調査の実施：大越地区処理施設 1 箇所
- ② 最適整備構想の策定：平成 23 年度策定の現構想の見直し
- ③ 再編計画の検討：処理施設の集約化や統廃合、さらには、公共下水道への接続を含め将来的な処理方法等を検討する。

4 実施時期

令和 6 年度

5 委託先

埼玉県土地改良事業団体連合会

6 契約金額

16,676 千円